

## (6) 青少年健全育成の推進

### ① 明るい青少年健全育成事業

#### <平成 29 年度実績>

- 広報・啓発活動・・・標語・ポスター作品を募集し、優秀作品の掲示と看板設置、啓発資材として花の苗を配布(親子芸術鑑賞会時)
- 学習活動・・・家庭教育講座、「子育てまかせてちよ講座」を開催
- ふれあい活動・・・親子ふれあい教室(七宝焼、木工、社会見学、本格スイーツ作り)、親子芸術鑑賞会(年 1 回)を開催
- ボランティア活動・・・とびしま・ペアレンツの活動 (H30.3 現在 74 名登録)  
北拠点避難所を利用し、夜に災害が起きたことを想定した避難訓練を実施
- すこやか子育てセミナー・・・子育てネットワークが企画・運営し、クリスマスの時期に「小さな村のキラリと光る親子音楽会」を開催

#### <点検及び評価>

- 家庭や地域の教育力を高めるために、小さな村の利点を生かして、絆を深める活動を推進することができた。
- 親子ふれあい教室の木工教室では、地元産業の木材を使って椅子製作を行い、地域とのつながりを深めることができた。
- 親子社会見学は、日程調整が難しく参加者の減少もあり、村民のニーズを考慮した新たな教室への見直しを行う。
- とびしま・ペアレンツの避難訓練は、防災の意識向上に繋がった。

### ② 平和推進事業

#### <平成 29 年度実績>

- 広島派遣及び体験報告会(11 月)を開催
  - ・目的：平和の尊さを学習・実感させるため
  - ・団員：6 名、引率者 2 名
  - ・派遣先：広島市平和記念公園（平和記念式典、献花献水慰霊式へ参加）
  - ・期間：平成 29 年 8 月 5 日(土)～6 日(日) ※報告書：200 冊作成
- 原爆写真等のパネル展示
  - ・目的：「平和推進の村」宣言に基づき、平和の尊さを村民に公布するため
  - ・時期：平成 29 年 7 月中旬～8 月中旬
- 被爆者援護会による学園訪問
  - ・目的：戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えていくため
  - ・対象：9 年生
  - ・時期：平成 29 年 12 月 21 日(木)

#### <点検及び評価>

- 広島派遣では、被爆体験者から直に話を聞くことで、戦争を知らない生徒たちが、再び戦争を繰り返さないこと等、生き方を考える貴重な体験となった。
- 体験報告会を通して、「ヒロシマ」の願いを、生徒や保護者へ広く伝えることができた。
- 被爆者援護会の方による講話は、より深く平和について考える場となった。

## 2 生涯学習・スポーツ・文化

### (1) 生涯学習の推進

#### ① 生涯学習推進事業

<平成 29 年度実績>

##### ○生涯学習(スポーツ)推進員の活動支援

- ・推進員：23 名
- ・任 期：2 年
- ・活 動：「学習部会」「スポーツ部会」「広報部会」に分かれて村内行事へ参加
- ・生涯学習情報誌「ほうれんそう」を発行(年 2 回)  
(村内全戸・企業に配布 各 2,000 部印刷)

##### ○スポーツ推進委員の活動支援

- ・委員数：8 名 ・定例会：12 回開催
- ・わんぱくスポーツランド開催(10 回)  
(延参加者)小学生 265 名  
(内容)うちわバドミントン、ランニングコディネーション、ドッジボール等
- ・キラリとびしまのびのび体操の普及活動(10 回)
- ・研修会等への参加  
全国スポーツ推進委員研究会(1 名)  
東海四県スポーツ推進委員研究会(4 名)  
愛知県スポーツ推進委員研修会(2 名)  
西尾張スポーツ推進委員研修会(2 名)  
海部地区スポーツ推進委員研修会(4 名)  
海部南部地区スポーツ推進委員研修会(8 名)

<点検及び評価>

- 生涯学習(スポーツ)推進員は、他の各種団体と協力して、行事に参画することができた。今後、より自主的な活動となるよう支援をしていきたい。
- スポーツ推進委員会の定例会を 12 回に増やすことで、活発な意見交換を行うことができ、各イベントの円滑な実施に繋がった。

#### ② 文化振興事業

<平成 29 年度実績>

##### ○ふるさとフェスタの開催

- ・目 的：村民が学習の成果や郷土芸能等を発表する場を設け、文化・芸能に対する資質の向上、郷土芸能の伝承を行うこと
- ・開催日：平成 29 年 11 月 4 日(土)～11 月 5 日(日)
- ・内 容：文化祭、芸能祭、菊華展、芸術鑑賞会等
- ・参加者数：延べ 3,806 名

<点検及び評価>

- 生徒に郷土芸能に触れる機会をつくることで、郷土芸能への理解を図った。学園アンケートから、次年度も伝統芸能の鑑賞を望む声が多くあった。
- 産業、福祉、芸術等の分野と連携を図り、農業祭・健康福祉祭と、芸術鑑賞会の開催時間が重ならないようにし、村民が参加しやすいようにした。

③ いきがい教育推進事業

<平成 29 年度実績>

○年輪のつどいの開催

- ・目的：村民の生きがいづくりと親睦を深めるため
- ・開催日：平成 30 年 2 月 18 日(日)
- ・参加者/対象者：(50 歳)15/53 名、(60 歳)23/52 名、(70 歳)29/83 名

<点検及び評価>

○各年代の代表による実行委員会を立ち上げ、式典の企画、運営及び講演会を行うことで、親睦交流会としてスムーズに実施することができた。

④ 地域づくりコミュニティ推進

<平成 29 年度実績>

○成人式(式典、記念撮影、懇親会)の開催

- ・日時：平成 30 年 1 月 7 日(日) ※「成人の日」前日の日曜日開催
- ・対象：村在住(中学校卒業で村外転出者を含む)の新成人
- ・参加者：37 名/54 名(対象者)

<点検及び評価>

○平成 29 年度より、成人式をより一層新成人にとって意義深いものにするため、新成人の代表による実行委員会を立ち上げ、手作りの成人式を企画・運営していく体制とした。打合会への参加者も多く、参加者からは好評であった。

⑤ 社会教育施設活用促進事業

<平成 29 年度実績>

○「生きがい学習講座」の開催

- |               |               |          |
|---------------|---------------|----------|
| ・ガーデニング講座     | 1 回 (定員 20 名) | 計 20 名受講 |
| ・身近に楽しめるカラー講座 | 3 回 (定員 20 名) | 計 8 名受講  |
| ・将棋講座         | 8 回 (定員 20 名) | 計 7 名受講  |
| ・羊毛フェルト講座     | 4 回 (定員 10 名) | 計 8 名受講  |

<点検及び評価>

○教室の開催日時や講座内容の検討をするとともに、広報活動に力を入れ、社会教育センターの利用促進を図った。今後も村民のニーズを把握し、講座内容等の見直しも含め充実を図っていく。

⑥ 友好都市交流事業

<平成 29 年度実績>

○南種子町への交流研修を実施

- ・目的：両町村住民の相互交流と相互理解を図るため
- ・日時：平成 29 年 12 月 23 日(土)～25 日(月)
- ・交流団：6 年生 10 人 引率者 4 名

<点検及び評価>

- 飛島村の代表としての意識をもって参加させることで、生徒の取り組み姿勢が向上し、報告会では、両町村の良さをわかりやすく伝えることができた。
- 交流団の生徒は、事業が終わった後も村の行事(とびしまルシェ)で、写真等を掲示したり、南種子町の方と交流したりすることができた。

## (2) 生涯スポーツの推進

### ① 各種大会開催事業

#### <平成 29 年度実績>

##### ○村民体育祭の開催

- ・日 時：平成 29 年 10 月 8 日(日) ・場所：飛島学園運動場
- ・参加者：3,200 名
- ・種目等：地区対抗、一般参加、各種団体参加、アトラクション等 22 競技
- ・実行委員会、競技等検討委員会(各 2 回) ・参加団体代表者会(1 回)

##### ○愛知万博メモリアル 第 12 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加

- ・日 時：平成 29 年 12 月 2 日(土)
- ・場 所：愛・地球博記念公園内、周回コース
- ・選手団：21 名(監督を含む) ・村推進委員会(1 回)
- ・競技結果：【町村の部】9 位(モリコロ賞) ※ 参加 16 チーム

#### <点検及び評価>

- 村民体育祭は、幼児から高齢者までの幅広い年代が参加する恒例行事として村民に定着している。
- 競技等検討委員会で競技等を検討しているが、「小学生が参加できる種目を増やしてほしい」「生徒が地域から参加できる形を取ってほしい」等の要望があった。今後、学園とも検討をしていく。
- キラリとびしまのびのび体操は、スポーツ推進員等の協力により、村民体育祭で多数の住民の参加を得ることができた。
- 駅伝大会は、参加選手募集に苦慮しているが、声かけ・広報等により、参加者を集めることができた。また、スタッフも精力的に取り組み、よい結果を収めることができた。

### ② スポーツ教室開催事業

#### <平成 29 年度実績>

##### ○少年少女体力づくり教室の開催(対象：小学生)

- ・目 的：子どもたちに各スポーツの基本を教え、スポーツや運動への興味・関心を高め、スポーツ少年団への加入促進を図るため
- ・期 間：平成 29 年 4 月 9 日(日)～6 月 4 日(日)(全 10 回)
- ・教 室：サッカー、野球、テニス、ミニバスケットボール
- ・参加者：28 名

##### ○コアエクササイズ教室の開催

- ・期 間：平成 29 年 5 月 23 日(火)～9 月 5 日(火)(前期 15 回)  
平成 29 年 9 月 19 日(火)～12 月 26 日(火)(後期 15 回)
- ・定 員：前期 30 名・後期 30 名 ・参加者：前期 12 名・後期 12 名

##### ○エアロビクス教室の開催

- ・期 間：平成 29 年 1 月 23 日(火)～3 月 13 日(火)(全 8 回)
- ・定 員：30 名 ・参加者：18 名

#### <点検及び評価>

- 小中学校の部活動のあり方が変わってきていることに伴い、子どもたちの要求に応える地域の受け皿としても、スポーツ教室の充実を目指していきたい。

### (3) 地域固有の文化の伝承と保護

#### ① 文化財管理事務事業

<平成 29 年度実績>

- 「奥田翁碑」の修復調査を実施
  - ・経年劣化や台風等の影響で破損したため

#### ② 地域民俗芸能伝承事業

<平成 29 年度実績>

- 地域文化の振興と継承
  - ・元松神楽太鼓保存会、海東流古政神楽太鼓保存会、服岡獅子舞保存会の運営費を助成

<点検及び評価>

- 民俗芸能の伝承及び保存のための活動を行う地域の人材が減少している中、活動に要する経費や団体の運営に要する経費の助成は、地域文化を伝承する上で今後も必要である。
- 奥田翁碑の修復調査結果をもとに、文化財保護審査会に諮り、修復方法を検討していく。

### (4) 文化施設・体育施設の管理運営

#### ① 中央公民館管理事務事業

<平成 29 年度実績>

- ホール舞台袖幕改修工事の実施

#### ② 渚コミュニティーセンター運営維持管理事業

<平成 29 年度実績>

- 渚コミュニティーセンターの管理・運営の委託（指定管理）
  - ・地元の渚地区公民館運営委員会へ施設を適正かつ円滑に管理するため、指定管理者委託を実施（平成29年 4 月 1 日～平成34年 3 月31日まで）

#### ③ 地区公民館維持管理助成事業

<平成 29 年度実績>

- 地区公民館（15地区）の維持管理費及び施設整備に係る運営経費の補助
  - ・地区公民館の適正な管理及び運営費の助成

#### ④ 公民館分館管理事務事業

<平成 29 年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）、夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託 ※ 喫茶室は賃貸

#### ⑤ 社会体育施設管理事務事業

<平成 29 年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、浄化槽）、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託
- 社会体育施設修繕等の実施
  - （東グラウンド）高圧設備修繕
  - （南部運動場）不陸修繕、駐車場整備
  - （三福サッカー場）ワイヤーロープ補修
  - （大宝サッカー場）防球ネット嵩上
  - （大宝テニス場）女子トイレ改修・ベンチシート修繕

<点検及び評価>

- 総合社会教育センター、渚コミュニティーセンター、地区公民館、公民館分館は、施設の経年劣化が進んでいる。施設の長寿命化を目的とし、今後も順次改修工事を行い、利用者の安全性・利便性の確保を図っていく。
- 渚コミュニティーセンターは、毎月2～3回の利用があり、地区住民の利用が定着している。
- 地区住民の連帯感と心豊かな住みよい地域社会をつくるため、地区公民館の維持管理に対する助成は必要であり、今後も継続していく必要がある。

⑥ 温水プール維持管理事務事業

<平成29年度実績>

【一般】※飛島学園水泳(体育)授業、着衣泳は含まない。

年度	利用者数	日最高	日平均	開館日	累計
27	88,288人	1,654人	300人	294日	1,702,181人
28	90,366人	1,790人	309人	292日	1,792,547人
29	※67,656人	1,723人	442人	※153日	1,860,203人

※ 10/1 から 3/31 まで、すこやかセンター大規模改修工事のため休館

○プール利用カード発行による無料開放(村小・中学生 計997人)

・期間：(中学生)5/30～8/31 (小学生)5/12～8/31

○子ども水泳教室の開催

・村内の幼児、小学生を対象に17部門に分け、9名の講師により、毎週火曜日から土曜日の午後4時30分から実施

【飛島学園】水泳(体育)授業

区分	回数	延べ参加者数
小学校(着衣泳を含む)	60回	1,449人
中学校	21回	840人

○主な施設設備工事、修繕の実施

・プール内諸設備(Aシステム環水ポンプ、プールロボット、Bシステム塩素注入口、給水式冷温水機フロートスイッチ、男女トイレ水栓、コインロッカー、ポータブル残留塩素計)の取替及び修繕を実施

・ろ過設備の更新を中心とした大規模改修工事を行い、採暖室のヒーター設備や床面タイルの貼替え、更衣室の床面貼替え、プール内壁面塗装、照明LED化を実施

○危機管理体制の強化

・すこやかセンターで、休日に、改修工事中の施工業者も参加して、避難誘導訓練(火災想定)を実施

<点検及び評価>

- 改修前のフィルター式ろ過機は、維持管理費用が高額であり、耐用年数も短いため、砂ろ過式に改修し、費用削減に努めた。
- 平成22年度から水泳(体育)授業に施設を利用しているが、天候に左右されることなく授業ができ、生徒の水泳能力向上が図られている。
- 今後も施設設備の保守点検を行い、計画的に改修を実施していく。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

① 社会教育団体活動費助成事業

<平成 29 年度実績>

○関係団体の事業活動に要する経費の補助

【文化協会】

- ・補助金額：8,500,000 円（加盟団体：29） ・登録会員：418 名
- ・総会、役員会（7 回）、役員研修会の開催
- ・第 18 回文化協会春の祭典を開催（5 月 27 日、28 日）
- ・県文連西尾張部芸能大会に参加（12 月 10 日）  
（会場）一宮文化会館 （出演団体）いきいき民踊クラブ
- ・各種行事（夏まつり、村民体育祭、ふるさとフェスタ）への協力

【婦人会活動】

- ・補助金額：78,000 円（1 地区） ・会員数：14 名
- ・地域活動：花いっぱい活動（3 回）、ふるさとフェスタに出展

【小学校 PTA 活動】

- ・補助金額：200,000 円

【中学校 PTA 活動】

- ・補助金額：200,000 円 ・家庭教育学級：6 回（小中学校共通）

<点検及び評価>

- 文化協会は、平成 31 年度に創立 20 周年を迎えることになる。今後も、世代を超えた繋がりがもてるように支援をしていく。
- 婦人会活動に対しては、女性の活躍・地域の活性化を図るため、より一層の団体育成を図っていく。

② 社会体育団体活動費助成事業

<平成 29 年度実績>

○関係団体が行う事業及び運営に要する経費の補助

【体育協会】

- ・補助金額：2,500,000 円 ・登録人員：714 名
- ・総会・役員会（7 回）の実施 ・村体育大会の実施：7 競技
- ・役員研修会の実施 ・スポーツレクリエーションフェスティバル参加
- ・各種大会への参加協力（チャレンジデー、村民体育祭、愛知駅伝等）

【スポーツ少年団】

- ・補助金額：2,000,000 円
- ・団員数：103 名 ・指導者数：43 名
- ・本部役員・指導者協議会：4 回 ・指導者研修会の実施：2 回
- ・村長杯の実施：4 競技 ・スポーツ少年団の各種大会への参加
- ・親子清掃活動：5 団体
- ・村行事（チャレンジデー、体育祭等）へ参加協力

【スポーツクラブとびしま】

- ・補助金額：5,000,000 円 ・総会・理事会（5 回）
- ・運営会員：12 名 ・一般会員：340 名 ・賛助会員：57 名

【全国大会派遣補助】

- ・バレーボール連盟：48,000 円

<点検及び評価>

- 体育協会は、村の生涯スポーツ推進の重要な組織である。今後は、住民が自主的にスポーツに関わっていけるような支援や、活性化に繋がるような他種目の掘り起し等を検討していく。また、自立して活動を行っていきけるような総合的な組織・体制づくりの支援を行っていく。
- スポーツ少年団は、年々加入者が減少している。活動のPRも大切であるが、小中学校の部活動のあり方も変化してきており、新たな活動体系も含め検討していくことが必要である。
- 「スポーツクラブとびしま」は、人気のある水泳教室や新規のランニング教室等の導入効果もあり、一般会員の増加傾向が続いている。今後も、村民のニーズを踏まえ、対応していきたい。

(6) 図書貸出機能の強化

① 図書館管理運営事業

<平成29年度実績>

○蔵書状況

年度	図書	視聴覚資料	雑誌	絵画作品	計
27	88,706冊	7,448点	4,396冊	259点	100,809点
28	87,443冊	7,247点	4,396冊	259点	99,345点
29	87,583冊	7,386点	4,460冊	259冊	99,688点

○貸出状況

年度	貸出点数(一人当たり)	3月末登録者数	年間貸出点数
27	17.45(冊・点)	4,102人	71,594冊・点
28	17.22(冊・点)	4,277人	73,654冊・点
29	15.12(冊・点)	4,425人	66,903冊・点

※11/1から11/30まで、すこやかセンター大規模改修工事のため休館

○広報活動

- ・広報とびしま掲載(図書館コーナー おすすめの本)
- ・ホームページからの情報発信
- ・赤ちゃん絵本の特別展示とリスト啓発・配布

○図書館見学(校外学習)

・飛島学園3年生46名

○職場体験の受入れ

・飛島学園7年生3名

○システムの更新

- ・利用者の利便性向上や情報提供の充実化を図った。

○主な施設設備改修工事、修繕

- ・図書館内諸設備、資料について下記の修繕を実施した。  
(視聴覚ブース映像音声配信機器、カウンター天板等塗装、DVD研磨)
- ・書架の耐震化、CD・DVD架の移設、フロアカーペットの更新、ロールカーテン・ブラインドの更新、照明LED化を実施した。

<点検及び評価>

- 改修工事を行い、明るい館内、親しめる空間、利用しやすい図書館となり、利用者から好評である。



## ② 図書館整備事業

<平成 29 年度実績>

### ○図書整備

- ・児童文学全集、住宅地図資料更新、新国史大年表資料の充実を図った。
- ・図書・視聴覚資料の一部除籍を実施した。

### ○雑誌の無償配布

- ・平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までの間に利用された雑誌について、無償配布を行った。

<点検及び評価>

- 効率的な除籍（図書・視聴覚資料）を実施し、資料の充実を図り、利用しやすい環境を整えることができた。
- 雑誌の無償配布は、冊数の制限を設けたり、整理券を配布したりするほどの人気があり、今後も継続をしていきたい。

## (7) 図書館利用者サービスの充実

### ① 図書館活動推進事業

<平成 29 年度実績>

#### ○絵本講座・わらべうた講座の開催（各 1 回）

- ・対象：乳幼児とその保護者、ボランティア経験者、一般の方

#### ○ブックスタート実施（年 6 回）

- ・奇数月の最終火曜日の午後、3・4 ヶ月児健康診査終了後に、ブックスタートパック（絵本 2 冊や赤ちゃん絵本冊子等）を手渡した。

#### ○季刊誌「図書館だより」発行（年 4 回）

「きらきら・のびのびつうしん」発行（年 12 回）

#### ○おはなし会の実施（年 36 回）

- ・図書館ボランティア：「おはなしぷくぷく」  
「コアラのおはなし」  
「としょかんおじさんのおはなし」
- ・おはなし会：4 月は「図書館まつり」で 3 団体が実施した。  
5 月以降は 3 団体が交代で毎月 1 回ずつ実施した。

#### ○人形劇公演（年 1 回）

- ・図書館と児童館が協力して人形劇を公演した。

<点検及び評価>

- ブックスタートでは、赤ちゃんと保護者に、絵本を介してゆっくり触れ合うきっかけづくりができた。
- 図書館だよりや「きらきら・のびのびつうしん」を発行することで、保護者や地域の方々へ、活動や取り組みを発信することができた。
- おはなし会終了後には、当日、読んだ絵本を借りていくことも多く、毎月、絵本の貸出数は上位となっていた。おはなし会の効果が表れている。
- 人形劇公演を親子で鑑賞する機会とすることで、親子間の絆を育むきっかけづくりを支援することができた。

### 3 国際理解

#### (1) 国際交流の推進

##### ① 中学生海外派遣事業

<平成 29 年度実績>

- ・目的：外国の文化や生活を体験させることで、国際感覚を養うこと
- ・派遣先：アメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市 他
- ・期間：平成 29 年 8 月 16 日(水)～22 日(火) 7 日間
- ・団員：40 名(村内在住の 8 年生) ・引率者：6 名
- ・リオビスタ市の中学校やホームステイ先での体験を通して、英語でのコミュニケーションを体験させた。また、アメリカ合衆国の広大さ、強大さ等を実感させるとともに、日本や飛島村の良さにも気付かせ、国際的な友好関係を築き、相互協力の意識をもたせた。 ※ 報告書：200 冊作成

<点検及び評価>

- 国際化が進展する現代社会で、様々な状況に適応するための行動力や責任感を体験させることができた。また、海外に行くことで、改めて郷土を愛する心を育むことができた。
- 報告会では、生徒、保護者、地域の方へ派遣事業の成果を報告することができ、参加者からは「事業の様子がよくわかった」との声が多く聞かれた。

##### ② 国際交流事業

<平成 29 年度実績>

○リオビスタ市交流団の受入

- ・交流団：中学生 12 名 ・引率者 2 名
- ・日時：平成 29 年 6 月 8 日(木) ～ 12 日(月)
- ・ホストファミリー説明会の開催

<点検及び評価>

- 小学生全員が、交流団をアメリカ国旗や飛島村旗で出迎えることができ、学園全体で歓迎の意思を表すことができた。
- 学園やホストファミリーでの交流を通して、国際的な視野を養うことができた。
- ホストファミリーの登録家庭は、現在 26 軒で、村民の理解は高まってきている。今後も体験者の話を紹介したり、文化展の会場に紹介ブースを設けたりして PR を行い、登録軒数を増やしていく。